

公益財団法人核物質管理センター 行動規範

はじめに

NMCC の社会的使命に対し、NMCC の一員として貢献する責任があります。NMCC で働くみなさんは、前向きに積極的な姿勢で基本原則・行動規範にある価値観、原則、基準を守ることを求めます。

基本原則

みなさんの行動と選択の軸になるのが基本原則です。行動規範を踏まえた倫理基準であり、すべての役職員が尊重するものです。NMCC の基本原則は、インテグリティ、ダイバーシティ、プロフェッショナリズムの3つです。

| | インテグリティ (Integrity) | ダイバーシティ (Respect for diversity) | プロフェッショナリズム (Professionalism) |
|----|---|---|--|
| 説明 | <p>“誠実である”ことは、妥協してはならない倫理的・道徳的な基本原則です。</p> <p>“誠実である”とは、公平・正直・真摯に行動すること、遵法の精神を持って行動することです。個人が社会的義務を果たすことも含まれます。</p> <p>“誠実である”か“誠実でない”かは、物事を判断する最も重要な基準になります。</p> | <p>“ダイバーシティ”の尊重は、社内規定や行動規範をふまえ、様々な経歴や視点を持つ人々と、敬意をもって効果的かつ包括的に働くための、基本姿勢です。</p> <p>“ダイバーシティ”を尊重すると、調和のとれた職場環境が育まれます。敬意・尊厳・寛容さのある職場が育まれます。差別・ハラスメント・いじめ、といった行為は、“ダイバーシティ”の尊重、社内規定や社内指針、行動規範、に相反します。</p> | <p>“プロフェッショナリズム”は、ある分野に精通し実力を備えていることをいいます。</p> <p>みなさんは、NMCC の社会的使命を果たすため、最高水準の仕事をすることが求められます。仕事の結果を出すことへのコミットメント、モチベーション、貢献、が求められます。</p> <p>また、判断の際は、適切な管理職レベルと協議し、社内規定や社内指針を遵守することが求められます。</p> |
| 指標 | <ul style="list-style-type: none"> ・言動や態度を通して、基本原則を実行していることを示す ・意思決定や職務遂行での、あらゆる不当な圧力に抵抗する ・職業倫理に反する行動に、迅速かつ効果的に対処する ・業務における決定は、「個人」でなく「組織」にとって最善の決定を下す ・自らの行動に対して責任を持ち、国や組織の法規を遵守している | <ul style="list-style-type: none"> ・すべての人に公平に接し、個人やグループを差別しない ・同僚、取引先、顧客、ステークホルダーに、敬意と品格をもって接し、偏見をもたずに仕事をする ・様々な経歴の人と建設的に仕事をする ・異なる視点に対して尊敬と理解を示す ・思い込んでいないかを自身に問い、固定観念(ステレオタイプ)を避ける | <ul style="list-style-type: none"> ・NMCC の社会的使命に、責任を持って取り組む強い意志がある ・効果的かつ効率的に職務を果たし、予定した期日までに結果を出す ・専門分野に精通し、実力を備えている ・難しい課題を解決する能力と判断力を備えている |

公益財団法人核物質管理センター 行動規範

行動規範 (Code of Conduct)

誠実であること (Integrity)

1. 真摯で、公平な、信頼できる態度で臨み、同様の関係を構築します。誠実であるとは、真摯であること、正直であること、公平であること、清廉潔白であること、を意味します。誠実であることは、すべてに優先されます。
2. 私たちは、適用法規を遵守します。
3. 私たちは、組織の指示に従って業務を遂行します。指示が、法規や社内規則に沿っているかどうか懸念がある場合は、速やかに上司に相談してください。もし、相談しても見解が相違する場合は、必ず文書で指示をもらって下さい。また、自らの見解を記録することも可能です。もし、指示の内容が、NMCC の役割から逸脱している場合や、自身や周囲の安全が脅かされる場合は、その指示に従う必要はありません。
4. 法規や社内規則への違反を発見した場合、私たちは速やかに、適切な措置を講じる責任を負う者へ報告する義務があります。調査が行われる際は、協力をして下さい。誠意をもってこれらを報告した人、また調査に協力した人は、保護される権利を持ち、いかなる報復も認められません。

違いを認めること (Respect for diversity)

5. 「寛容」と「理解」は人道の基本です。私たちは、分け隔てなく、すべての人を尊重します。自由に話し合い、ひとりひとりに寄り添うような職場・風土が育まれるよう、受け身ではなく、前向きで肯定的な姿勢を心がけます。
6. 私たちは、自分の言葉や行動を、他人がどう捉えるか、常に注意を払います。偏見や不寛容とみなされる表現は、避ける必要があります。
7. 「差別からの解放」は、基本的人権です。私たちは、ステレオタイプな憶測はせず、すべての人の尊厳、価値、平等を尊重します。
8. ハラスメントは人間の尊厳を傷つけるものです。何人も、ハラスメントに関与してはなりません。すべての役職員が、ハラスメントやいじめのない職場で働く権利があります。NMCC はハラスメントや職権の乱用を禁じます。人に不快感や屈辱を与えたり、困惑させたり、威嚇するために地位や権力を使ってはなりません。

プロフェッショナルであること (Professionalism)

9. 私たちは、その職務を遂行する上で、倫理的かつプロフェッショナルとしての姿勢が求められます。課題に対して、透明性と確実性をもって対処します。
10. それぞれの活動領域での専門的な発展が、優れた技術と高い品質の維持につながります。未来を見据え、前向きで肯定的な姿勢で新しいアプローチや考え方を支持します。

公益財団法人核物質管理センター 行動規範

独立していること (Remain Independent)

11. みなさんは、社会での立場を公平に保ち、特定の企業や組織を優遇することなく、ひとりひとりが公正で独立した立場を守らねばなりません。公正で独立した立場を脅かされそうな時は、いつでも上司に相談してください。

説明責任を果たすこと (Be Accountable)

12. 私たちは、その職務を遂行する上で、実行したすべての行動、行った決定、コミットメントに対して、説明責任と応答責任を有しています。
13. 私たちは、コミュニケーションや意思決定、会計において、正直さ、完全性、正確性が求められます。また、書類作成において、事実に基づいた、正確かつ完全な書類が求められます。効果的なプロセスおよび内部統制を維持することで、公正に物事を進め、不適切な遂行を未然に防ぐことができます。また、NMCC の物的資産・知的財産・金融資産を守るすることができます。

利益相反 (Conflict of Interest)

14. 個人にとってベストかどうかではなく、NMCC にとってベストかどうかを考えて、業務判断を行って下さい。
15. 利益相反は、個人的な利益が職務の遂行を妨げたり、職務上求められる誠実さ・独立性・公平性が疑われる場合に生じることがあります。利益相反には、直接または間接的に、不適切な利益を得たり、第三者に不適切な利益を与える可能性がある状況も含まれます。また、利益相反は、第三者・個人・受益者・他の組織と個人的・家族的な取引をすることによって生じることがあります。

利益相反やその可能性が生じたら、NMCC の利益のために開示し、対処し、解決して下さい。利益相反の事案は、非常にデリケートなので慎重な取り扱いが必要です。

16. いかなる贈収賄や汚職は許されませんし、関与してはなりません。個人や組織に都合の良いように取り計らってもらおう目的で、支払いや贈与をしてはなりません。

社会及びステークホルダーからの理解 (Relations with the Public and Stakeholders)

17. NMCC がその使命を全うするには、社会及びステークホルダーの理解と協力が欠かせません。私たちは、活動の目的と内容への理解が得られるように努めます。
18. 公の場で個人的な不満を述べたり、NMCC を批判したりするのは、組織の一員として適切な行為とはいえません。NMCC 職員の好ましいイメージと共に、活動への理解を促進するよう努めて下さい。

公益財団法人核物質管理センター 行動規範

情報とプライバシーの保護 (Use and Protection of Information, and Privacy)

19. 機密情報の開示は、組織の効率性と信頼性を著しく損なうリスクを含むため、慎重な行動が求められます。開示は、必ず許可を得て行って下さい。業務で知り得た非公開情報を個人的な利益のために使用してはなりません。離職後も同じです。

NMCC 情報への不正アクセス、偶発的な損失・開示・破壊を防止します。NMCC 情報の保存、転送、バックアップには、NMCC が承認したシステムおよびツールを使用します。

20. プライバシーの権利は尊重されます。個人情報適切に管理され、法規に則って取り扱わねばなりません。

環境と安全・衛生 (Environment, Health and Safety)

21. みなさんの健康、福祉、安全、生命が不当に危険にさらされないようにすることは、組織の責任です。みなさんは、健康で安全な職場づくりに取り組んで下さい。健康で安全な職場づくりには、一人ひとりの協力が欠かせません。安全・衛生に関するリスクに気が付いたら、速やかに報告し、早期改善に取り組んで下さい。不安全な状態はないか、不適切な手順や状態はないか、常に疑問を投げかけて下さい。作業中、おかしいと思ったら、すぐに“Stop work”して、確認するようにして下さい。

公益財団法人核物質管理センター 行動規範

改訂履歴

初版：2022/6/21